

三衛会発第4号
令和4年6月13日

会員各位

特定非営利活動法人三重県歯科衛生士会
会長 笹間 滋代

令和4年度第2回三重県歯科衛生士会生涯研修会について（ご案内）

向暑の候、会員の皆様におかれましてはますますご清祥の事とお喜び申し上げます。
さて、標記研修会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。
ご多用中とは存じますが、皆様のご参加をお待ちしております。

記

開催日時 令和4年7月24日（日曜日）13：00～15：00

開催方法 ハイブリッド形式

- 1）津市中央公民館 情報研修室（津市大門7-15 津センターパレス2F）
定員30名（役員、スタッフを優先とします）
- 2）WEB会議システム「Zoom」
定員80名

講師 日本歯科衛生士会 副会長 久保山 裕子 氏

内容 「災害時の「食べる」を支える歯科衛生士の役割」

対象 歯科衛生士

参加費 三衛会会員 無料、
県外会員 3,000円、会員外 5,000円

申込み締切り 7月8日（金）定員になり次第締め切りとさせていただきます。

申込方法 下記のURLまたはQRコードからお申し込みください。

<QRコード>

URL <https://forms.gle/4geFpyf5qzGpYQW49>



お問合せ先 三重県歯科衛生士会事務局
E-mail mie-dh@infoseek.jp

【抄録】

『災害時の「食べる」を支える歯科衛生士の役割』

久保山 裕子

豪雨災害や地震など、災害は私たちの生活を突然襲います。被災状況によっては避難所等での生活が長期化することもあり、私たち歯科衛生士は、口を通して健康を支えるという活動が求められています。

災害時の歯科衛生士の役割は歯科保健医療を通じて被災地の方々の生活を支援することですが、被災直後は歯や口の怪我の治療や口腔衛生用品を提供することなどがいち早く対応すべきこととなります。避難所での生活が長引いてくると「食べること」や「歯みがき」の問題が表面化します。また、発災後 2 週間を超えると高齢者の誤嚥性肺炎などが増加するため口腔ケアの支援が必要となります。そのため災害時に特に配慮が必要で弱ってしまう方に早く気が付き、対応することが大切です。

今回の研修では避難所でのアセスメントや情報交換の演習を行い、災害時の歯科チームの活動をイメージをしていただきたいと思います。

職歴

- 1976年 東京医科歯科大学歯学部附属歯科衛生士学校卒業
- 1976年～1977年 福岡歯科大学附属病院勤務
- 2014年～ 福岡医健 歯科衛生士科 非常勤講師
- 2015年～ 福岡歯科衛生専門学校 非常勤講師
- 2016年～ 福岡ハートネット病院 非常勤勤務
- 2019年～ 筑紫歯科医師会 歯科医療連携室 非常勤勤務

役職

- 公益社団法人日本歯科衛生士会 副会長
- 一般社団法人福岡県歯科衛生士会 副会長

著作

- 「介護予防の現場で役立つ 口腔機能事例集」共著
- 「これから始める 口腔機能向上事業ガイドブック」共著
- 「歯科衛生士のための地域ケア会議必携マニュアル1・2」編著
- 「歯科衛生士のための食べるを守るシームレスケア」編著
- 「病院における 医科歯科連携・口腔機能管理マニュアル」共著